

第24回宇宙開発委員会（定例会議）

議 事 次 第

1. 日 時 昭和48年12月19日（水）
午後2時～4時
2. 場 所 宇宙開発委員会会議室
3. 議 題 (1) 昭和48年度1～2月期ロケット打上げ
実験計画について
(2) 国際磁気圏観測計画（IMS）について
（報告）
4. 資 料
委24—1 第23回宇宙開発委員会（定例会議）議事要旨
委24—2 昭和48年度1～2月期ロケット打上げ実験
計画一覧表（案）
委24—3 SESノート（K—No.427, No.428, No.429,
K—No.430）
委24—4 第9回ロケット打上げ実験計画書（昭和49年
1・2月期）
委24—5 打上げ実験用ロケットノートNo.9
委24—6 国際磁気圏観測計画（IMS）の実施について
（勧告）

第 2 3 回宇宙開発委員会（定例会議）

議 事 要 旨

1. 日 時 昭和 4 8 年 1 2 月 1 2 日（水）
午後 2 時～4 時

2. 場 所 宇宙開発委員会会議室

3. 議 題

- (1) 宇宙開発委員会技術部会報告について
- (2) 宇宙開発に関する基本計画について（報告）

4. 資 料

- 委 2 3 — 1 第 2 2 回宇宙開発委員会（定例会議）議事要旨
委 2 3 — 2 宇宙開発委員会技術部会報告
委 2 3 — 3 宇宙開発に関する基本計画

5. 出席者

宇宙開発委員会委員	山 県 昌 夫
〃	網 島 毅
〃	吉 識 雅 夫
〃	八 藤 東 禧

関係省庁職員等

科学技術庁研究調整局宇宙開発参事官

山 野 正 登

文部省大学学術局審議官

笠 木 三 郎
（代理：深沢）

通商産業省工業技術院院長

塚 本 保 雄
（代理：前田）

運輸省大臣官房参事官

佐 藤 久 衛
（代理：小林）

気象庁総務部長

間 孝
（代理：高谷）

郵政省電波監理局審議官

市 川 澄 夫
（代理：岡井）

建設大臣官房技術参事官

宮 崎 明
（代理：田中）

東大宇宙航空研究所業務課

秋 元

事務局

科学技術庁研究調整局宇宙企画課

松 元 守 他

6. 議事要旨

(1) 前回議事要旨について

第 2 2 回宇宙開発委員会（定例会議）議事要旨が確認された。

(2) 宇宙開発委員会技術部会報告について

事務局から標記の件について、資料委 2 3 — 2 に基づいて説明が行われ、以下の質疑応答が行われたのち、了解された。

網島：指令破壊装置の試験は、どの段階まで行つたのか。

事務局：Sバンドコマンド受信装置からの信号により、2 段ロケットモータ鏡板に着いた成型爆薬を爆発させて、鏡板にきれつを生じさせ、これを千ゲージの断線によつて確認した。

吉田：圧ゲージの取付け場所はどのように選定したのか。

事務局：形状等から判断して、きれつの生じると思われる場所を選定した。

網島：完全な破壊試験を行うとテレメータも作動しなくなると思われるが、破壊後のロケットの退跡はどうするのか。

事務局：破壊時における速度、高度、風速等の条件から地上において破壊破片の数量、破片の分布の範囲等につき解析を行うこととしている。

網島：JCR型ロケット、LSC型ロケットの実験は何号機まで行うのか。

事務局：48年度冬期打上げ実験でJCR-10号機、LSC-7号機を打ち上げて本シリーズは終了し、次は試験用ロケットQの打上げ実験に移ることになっている。

網島：三軸に関する制御試験はどのロケットで行うのか。

事務局：JCR-10号機で行う。

山県：本報告は技術部会の全委員に知らされているのか。

事務局：従来は第一分科会だけであつたが、今後は全委員に知らせることとしたい。

(3) 宇宙開発に関する基本計画について

事務局から標記の件について、去る11月7日に行われた委員会議決どおり、11月30日付けをもつて内閣総理大臣により定められた旨報告が行われたのち、以下の質疑応答が行われた。

網島：本計画の宇宙開発事業団への通知はどこから行われるのか。

事務局：内閣総理大臣からの通知を受けて、科学技術庁が行う。

委24-2

科学技術庁

48.12.19

昭和48年度1・2月期ロケット打上実験計画一覧(案)

機種	打上予定日	延期日	打上場所	備考
	49年			
K-9M-45	1月16日	1/21まで	内之浦	
L-3H-8	1・19	1/27 "	"	
MT-135P-9	1・30	2/4まで	種子島	
JCR-10	1・31	"	"	
MT-135P-10	2・7	2/12まで	"	
LSC-7	2・8	"	"	
M-3C-1	2・14	2/23まで	内之浦	